

品川支部

平成30年9月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
TEL 3442-7075

9月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

全教一斉にをいがけテーと 支部おつとめ総会30日

今年は、全国で二十八日から三十日の間で各支部で日にちを決めて行う事になりました。

品川支部は二十八日、三ヶ所で会長路傍講演

- 五反田駅前
- 大井町線大井町駅前
- 西大井駅前

時間は十時からですので、応援お願いいたします

おつとめ総会

三十日十時から都南分教会で行います(詳細2P)
品川支部では支部内に住まわれている教友との
おつとめと、懇談を一番の目的として、十一時過ぎ
からはお昼ご飯、模擬店等半日を楽しく過ぎて頂ける
よう用意しております。
どうぞお誘い合わせの上おいで下さい。

☆支部行事のお知らせ

●支部幹事会今月は日にちが変わります
九月七日(金)午後6時〜
場所 都南分教会

変更

・教区ひのきしん

九月五日と十七日 午前9時半〜 本大崎組

・神名流し

九月一日十時 大井町駅前西口ロータリー

・在宅センターひのきしん

九月二十五日(火) 午前9時半〜

・支部おつとめ総会

詳細は2ページ掲載

☆教務支庁からのお知らせ

・創立百十周年に向けた工事等

神殿屋根の葺き替えも順調に進み完成。

多くの方のひのきしん有り難うございました

布教の家「荻外荘(てきがいそう)(一月号)に

掲載)の移築に伴い九月から現使用者及び品物の

引越し、十月から解体、来年四月の記念祭までに

杉並への移転が行われます。その後四月四日起工式

を行い新たに布教の家建築となります。

尚、荻外荘の解体前に、興味のある方が見学

出来るよう現在検討中です。

・左記、工事に伴い一時神様を二階の会議室に

移させて頂いておりますが、元の位置に戻さ

せて頂く事になります

【教区 青年会総会・女子青年大会】

開催のお知らせ

9月23日(日) 午前9時受付〜4時

東京教務支庁にて

講師 池 芳朗青年会本部地域活動部長

プログラム

9:00 受付 10:00式典
(式典は青年会・女子青年は別メニュー)
12:00記念講演 14:00 直会

・数ヶ月前からの重なる水害によ
り、何らかの被害があった教会は
四十一箇所に及んだそうです。
中で壊滅的だったのは二軒とい
うことで、教区からのお見舞いを岡
山・広島・愛媛に送らせて頂き
ました、早い復興を祈ります

・今年の子供おぢば帰りは、各地
の大きな水害と猛暑にもかかわら
ず二十二万人と言うことでありま
した。教区からはカウンセラールを
含む七十一名が少年ひのきしん隊
で参加頂きました。

拠点教会	2日号	9日号	16日号	23日号	30日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り	手配り
本 荏	直送	手配り	手配り	手配り	手配り
都 南	直送	手配り	手配り	手配り	手配り
三ツ木	直送	手配り	手配り	手配り	直送
水豊田	直送	手配り	手配り	手配り	手配り

世帯

世帯

世帯

品川支部おつとめ総会

平成30年9月30日 (日)

場所 都南分教会

(品川区南品川6-6-7)

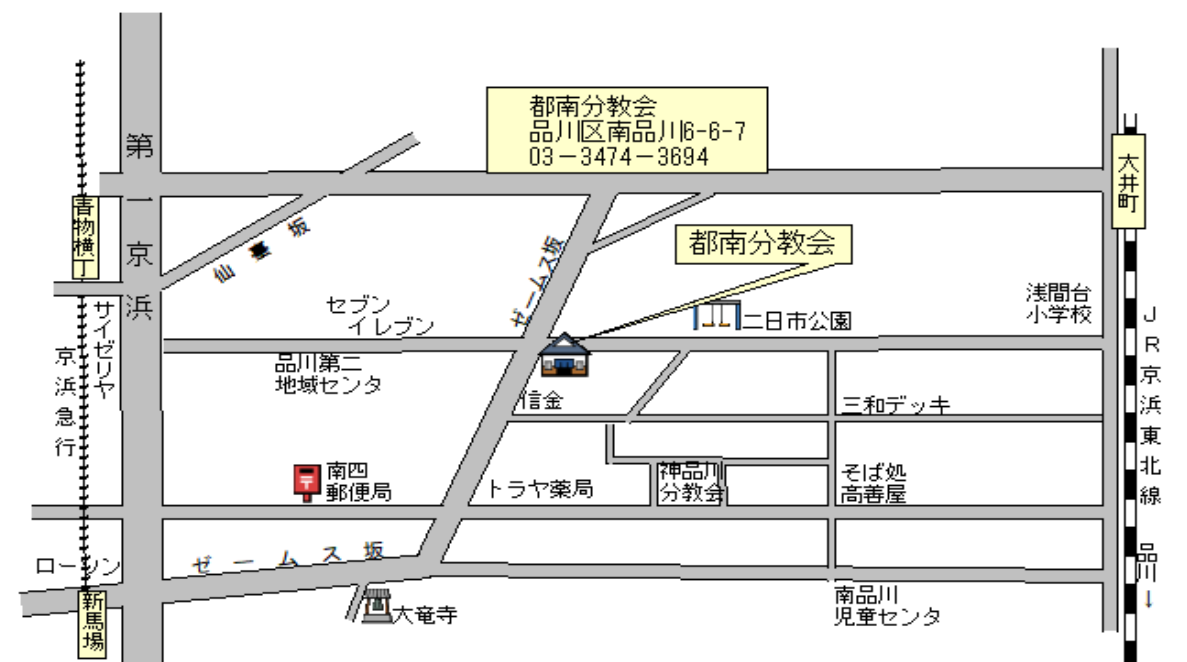
内容 座りづとめ 十二下り

支部活動紹介

昼食は豪華模擬店、飲み放題

*どなたでもおつとめに参加

(白足袋ハッピー着用)



私の信仰

身上、事情は 道の花

昭和五十三年、私の信仰は神品川分教会の跡取り娘の家内との結婚から始まりました。私は、天理教とは全く縁のない家庭に生まれ育ち、結婚を機に初席を運び、間もなくおさずけも拝戴しましたが、当時は防衛庁に勤務していて、月次祭も休日だけ参拝する程度のものでした。転機は平成十五年にやつて参りました。その年の七月に義父、十月に義母と相次いで病に倒れ、長患いする間もなく出直し、今後どうなるのか思索していたところ、当時の大教会長様から呼び出しがあり、「祖父から孫へと代が飛ぶのは良くないから、中継ぎをして欲しい。」との事でした。

当時、私は五十代半ばで、仕事上の責任や職場での立場も重く、辞めるのは難しい時期でもありましたが、

家内一人で教会を維持していくのは困難と申しましたので、一緒に教会を支えていく決心をしました。今考えると当時の仕事は激務でストレスから身も心も疲れ切っていて、そのまま仕事を続けていたら倒れる寸前で限界だったように思います。義父も常々「今に体を壊さないか」と心配していたと、後から聞きました。

さて、それまで天理教の教理、お手ふり等、全くと言ってよいほど知りませんでしたので平成十六年四月、勇んで修養科に入りました。男子四名女子二名が同期生で女子は二人とも教会子女でしたが、男子は車イス二名(重い、内臓疾患の方と身体障害者)もう一名はとび職(後で判ったのですが、覚せい剤中毒者)の方でした。この方が薬の禁断症状の為か、ことあるごとに切れて、教養掛も手を焼いていて、波乱のスタートでした。毎日が緊張の連続で、みな、戦々恐々としていましたが、

一か月目が終わりになる頃、禁断症状に負けてとうとう辞退してしまいました。車イスが二台残され、一人では押せないと困っていたところ、他話所の仲間が援助してくれ、ほっとしていたのもつかの間、今度は内臓疾患の方の病状が悪化、夕食にも来ないため部屋を訪ねると意識不明状態でした。いこの家に緊急入院したものの、それから間もなくして出直しされていかれました。

どうとう男子は二名だけになってしまい、天理教の全てを学んで身に付けたいと勇んで来たのに、こんなことが続けて起きるとは考えもありませんでしたので、「このまま天理教を続けても先は心配で、早く帰って別の道を探した方が良いのではないか?」と思いつめていました。そんな時に、若い講習生に今までの悩みを打ち明けていると、「教祖に期待されているんですね」と言われて驚いた。

予想もしていない答えに、最初は意味が分からなかったが、しばらくして、はっと気が付いた。いろいろな苦難、試練を頂くのは成人して欲しいから。身上、事情は道の花と言うのではない。教理やお手ふりよりも、もっと大切なことを学ばせてもらっている。天理教の陽気暮らしというものは、心の持ち方、受け取り次第という事を学ばせて頂いた。それからしばらくして、

、車イスを押していると、後も見ずに不意に「浅田さん、優しくなったね」と言われ驚いた。心の持ち方が変わると何も言わなくとも周りに伝わるという事に...

神品川分教会会長

浅田正行

